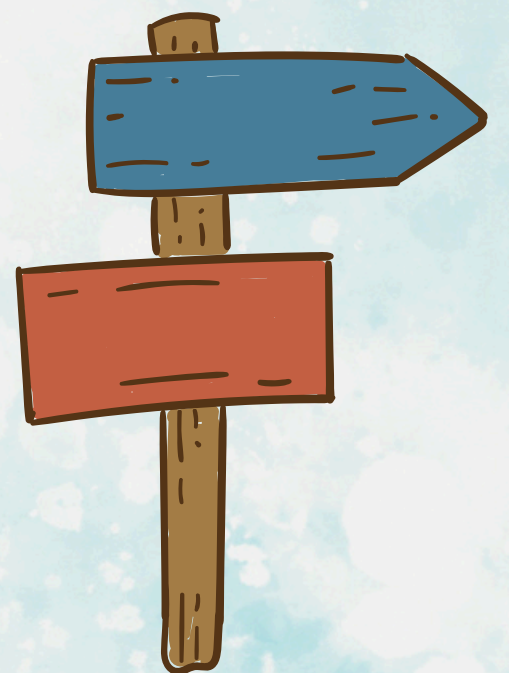


# 遠見番山へ案内板を設置

梅雨の合間に、案内板を取り付けました。

「山頂は 眺望十倍 パワースポット ここまで来たら  
素通り大損」思わず登ってみたいくなりますよね!?



# お知らせ

遠見番山の作業活動が  
新聞に掲載されました

本 新 聞

第3種郵便物認可

## 遠見番山の眺望 次世代に

# 住民有志が雑木伐採

日置市東市来の住民有志らが、遠見番山（標高180㍎）の山頂周辺の雑木を伐採し、整備を進めている。遠くは桜島も見えるようになった。「歴史がある場所なので、地元だけでなく、多くの人に愛されるよう次世代に引き継ぎたい」と力を込める。

## 転落防ぐ安全柵も整備

東市来

遠見番山は藩政時代に外国船を見張る遠見番所が設けられていた。近くに火立番所も構え、のろしを上げて伊集院などを經由し、鹿児島草牟田まで報告して

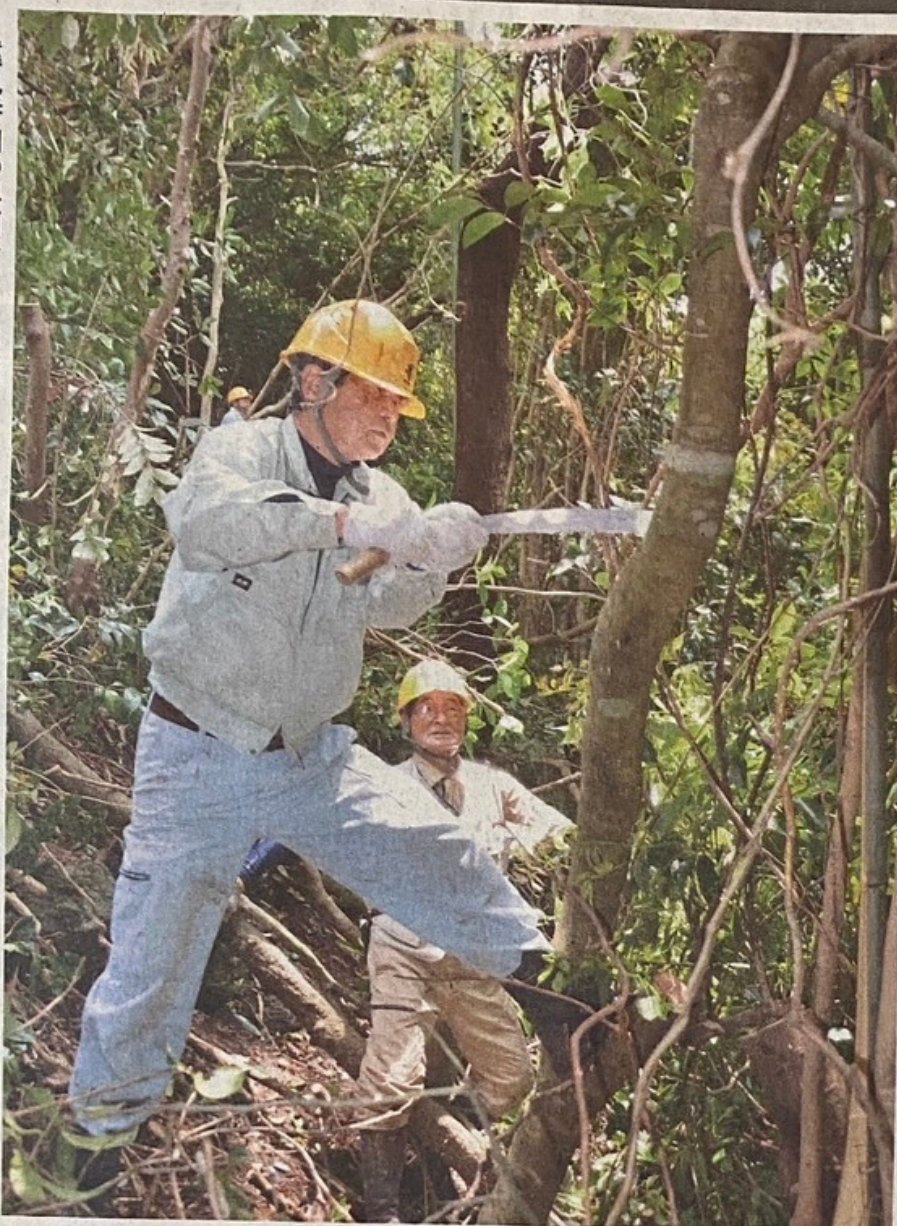
いたという。

眺望の確保に取り組んでいるのは「NPO-WBCかごしま」（高山信義理事 長、20人）。2011年に設立し、薩摩

川内市などで環境保全に努めてきた。幼いころから遠見番山に登っていた理事の二田正章さん（78）は約2年前、生い茂った樹木で山頂からの眺めが悪くなったことに驚いたという。

整備のため周辺を所有する日置市と協定を結んだほか、「緑の募金助成事業」を活用。昨年7月からメンバーが週1回集まって樹木や枝を切り倒し、転落防止のために木製の安全柵を設置してきた。

9日もメンバー6人は、山頂の斜面で、伸びた木の伐採などに汗を流した。二田さんは「将来的には360度の眺望を楽しめるようにしたい。観光客を呼び込み、活性化できたら」と話した。メンバーを募集中。二田さん 090（8413）6557。（宮田佳成）



遠見番山の斜面で木を伐採する住民有志ら

日置市東市来町伊作田



遠見番山の山頂から見える吹上浜（左上）や江口浜の風景。安全柵も新たに設置されている

